

情報電子専攻英語講読 (Technical English of Computer Science and Electronic Engineering)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
専門基礎	必修	1年	2	講義	特別研究担当教員	
【授業の概要】 最初に全専攻の学生を対象として、論文に必要な英語の基礎を学ぶ。その後に、情報電子工学専攻に関する英語文献の講読を専門分野ごとに行う。特別研究に関連する書籍あるいは論文を詳読することにより、専門分野において必要な英語力ならびに英語によるプレゼンテーション能力を養う。						
【学修の進め方】 特別研究に関連した専門分野の英語文献などを詳細に読み込む。内容がしっかり把握できるまで、十分に予習しておく必要がある。						
【授業の概要】						
全専攻共通担当教員一覧：天内和人、国重徹、高橋愛 担当教員：内容 天内：英語論文の基本構成 国重：科学論文等によく見られる構文や文法はそんなに怖くない 高橋：科学論文講読入門 情報電子工学専攻担当教員一覧：池田信彦、百田正広、山田健仁、義永常宏、奥本 幸、大橋正夫、天内和人、重村哲至、高山泰博、原田徳彦、新田貴之、柳澤秀明、古賀崇了 担当教員：内容 池田：ニューラルネットワーク関連英語文献の講読 百田：画像、信号処理に関する英語文献の講読 山田：制御、信号処理に関する英語文献の講読 義永：形式言語とオートマトン理論に関する英語文献の講読 奥本：画像認識に関する英語文献の講読 大橋：無機結晶材料に関する英語論文等の講読 天内：生命科学領域の英語学術論文等の講読 重村：直接指示 高山：自然言語処理関連技術に関する英語文献の講読 原田：電磁界計算に関する英語文献の講読 新田：ネットワークプロトコル（主として RFC）に関する講読 柳澤：ハードウェア設計、または、Web ベースシステムに関する英語文献の講読 古賀：ソフトウェアコンピューティングの応用分野に関する英語文献の講読						
【到達目標】	特別研究に関連する書籍、論文を詳読することで、専門書を読解する英語力を身につける。					
【徳山高専学習・教育目標】	A2		【J A B E E 基準 1(1)】	f		
【評価法】	主に輪講形式で授業を進めるので、分担箇所の準備度、理解度、およびレポートや出席状況等により、担当教員が総合的に評価する。					
【テキスト】	担当教員が必要に応じて資料を配付する。講義概要を参照のこと					
【関連科目】	特別研究、科学英語表記法、総合英語					
【成績欄】	前期中間試験	前期末試験	前期成績	後期中間試験	後期末試験	学年末成績
	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】	【 】